



# 道新でワークシート

年 組 名前

2014年に打ち上げられた宇宙航空研究開発機構(JAXA)の探査機はやぶさ2が6月27日、地球から約3億キロ離れた小惑星



## はやぶさ2の「到達」

「りゅうぐう」にたどり着きました。本紙は「りゅうぐう到達」との見出しでこの事実を伝えました。しかし、記事本文には「到着」

と書いてあります。ならば見出しも「到着」が正しいのでしょうか。辞書を調べると、到達も到着も「目的の場所に行き

着くこと」で、ほとんど意味の違いはありません。念のため、見出しを付ける部署の担当者へ、見出しも記事の表記に合わせてはどうかと提案してみました。担当者からは、はやぶさ2は小惑星に着陸したわけではないので「到達」を使用したという説明がありました

た。確かに、正確には、はやぶさ2は、りゅうぐう近くの目標の位置に着いたのであって、実際の着陸は9月から10月の予定です。「漢字ときあかし辞典」(研究社)には、「着」は「ぴったり接して離れないこと」とあります。他紙では見出しも含め「到着」と

しているものが多かったようですが、本紙の場合「着」という漢字を持つ印象を避けて「到達」を選んだことになりました。たった1文字の違いですが、少しでもユアンスの近い言葉を探すこの努力、みなさんに伝わったでしょうか？

(角田尚輝)

①本文中の「はやぶさ」と「りゅうぐう」を別の言葉で表した言葉をそれぞれ漢字3字で書き抜きなさい。

はやぶさ			
りゅうぐう			

②新聞の見出しや本文に使う言葉を選ぶとき努力していることを20字程度で書きなさい。


③本文の内容に合うように、「到着」「到達」それぞれの語を使った短文を作りなさい。ただし以下の語句をどちらかの文で必ず一回使うこと。

お弁当    桜前線    北海道    会場

「到着」

「到達」